

宗吾様350年祭記念行事を開催

やさしい心を育て、人づくり・まちづくり

ことしは、義民の象徴として広く知られている木内惣五郎没後350年にあたります。「宗吾様」と呼ばれ、日本各地で語り継がれている義民の中でも格別な存在です。市ではその偉業をたたえ、宗吾様350年祭記念行事を開催します。助け合いの心をはぐくみ「義の精神」を通して、観光・商業の活性化を図ろうと、「義のまつり」として、7月20日から11月3日まで各会場でさまざまなイベントが行われます。

義民の心を今に 人づくり・まちづくり フォーラム

現代社会において大切なことは、人を思いやることのできる優しい「義民」の心をもった人を育てることです。これは教育やボランティア活動にも通じるものです。そこで、「義民の心を今に」というテーマで、7月20日(祝)に宗吾堂でフォーラムを開催します。

日時：7月20日(祝)午後1時

～4時30分

フォーラムの内容

- 第一部「義民の心を今に」シンポジウム
 - ・パネリスト：横山十四男としかさん(全国義民顕彰連絡協議会代表・元筑波大学教授)ほか
 - 第二部「人づくり・まちづくり」フォーラム
 - ・講師：堀田力ちからさん(弁護士・財)さわやか福祉財団理事長)
- 会場：宗吾堂大本坊
定員：200人



堀田力さん

義民・木内惣五郎とは



公津村の名主だった木内惣五郎は、承応元年(1652)凶作と佐倉藩の重税に苦しむ領民を救うため、將軍に直訴を行いました。住民を飢えから救いました。しかし、直訴の罪により承応2年(1653)8月3日(現在の9月3日)惣五郎親子は公津ヶ原刑場(現在の宗吾霊堂境内)で、極刑に処せられました。

以来、「宗吾様」と呼ばれ、日本各地で語り継がれている義民の中でも格別な存在です。今でも宗吾様をしのび、宗吾霊堂を訪れる人が絶えません。

重税に苦しむ領民を救うため、將軍に直訴した惣五郎



成田の義民・宗吾ゆかりの人物展 「義の心を」広めた人びと

市内で義民として著名な人物
または宗吾にゆかりのあった人
および学術・文化・政治の分野で
活躍した人などの人物展を開催し
ます。

紹介する人物（50音順）
成田の義民〓小川武平、木内惣
五郎、九兵衛、治右衛門
宗吾ゆかりの人物〓圓城寺次郎
小川誠、小川源一郎、田中照心
土肥刀泉、三好照嘉
学術・文化・政治などの分野で
活躍した人〓大原幽学、柏原

文太郎、神山魚真、木村正辞
鈴木雅之、竹尾式、二宮尊徳
福沢諭吉
展示する資料〓写真、パネルな
ど

展示会場〓宗吾霊堂、市役所
成田国際文化会館、中央公民館
など（くわしい巡回場所は商工
観光課へ）
期間〓7月20日（祝）～11月3日
（祝）
時間〓午前9時～午後4時
入場料〓無料

こんなマークの
募金箱を見かけたら



永六輔さんのデザインによ
る「義」という文字のついた
募金箱を、各会場や公共施設
（市役所・公民館）などに設置
します。
集められた募金は、義援金
として寄付されます。みなさ
んのご協力をお願いします。

お楽しみイベント 「義」を楽しむ

永六輔さん（放送タレント）、遠藤泰子さん（フ
ィーアナウンサー）、小泉源兵衛さん（ピアニスト）の
3人を迎え、「義」にまつわる楽しいおしゃべりをし
ていただく予定です。また、神田松鯉（講談師）さ
んの「佐倉宗吾」の講談も聞くことができます。

日時 = 10月13日（日）午後1時～3時（入場は午後
0時30分から）

会場 = 成田国際文化会館

定員 = 1,200人

入場料 = 無料

申し込み方法 = 電話またはハガキで商工観光課
（☎20-1540・〒286-8585 花崎町760）へ。案内状
を送付します



永六輔さん



遠藤泰子さん



小泉源兵衛さん



神田松鯉さん

ほかにもこんなイベントが開催されます

イベント名	内容	開催日時	開催場所	備考
“はがきで直訴”コンク ール	ハガキによる『だれに をどうしてほし い』を募集。内容は、 切実な、楽しい、ほの ぼのした訴えなど、自由 に	ハガキと色紙の展示会 7月20日（祝）～11月3日（祝） 午前9時～午後4時	宗吾霊堂、市役所、 中央公民館、成田 国際文化会館など （くわしい巡回場所 は商工観光課へ）	市役所・公共施設などに備 え付けの専用ハガキで応募。 応募締め切り = 7月10日（水） 審査の結果、優秀作品には 記念品を贈呈
各界の著名人 「義」を顕す	各界の著名人による 「義」を書いた色紙の展 示会			
みんなで歩こう 「義民ロード」	京成宗吾参道駅から甚 兵衛渡し跡を結ぶ約7.5 kmの「義民ロード」をみ んなで歩く	10月上旬に開通式と歩こう 会	開通式は宗吾霊堂 （予定）	くわしくは広報なりた9月15 日号でお知らせします

くわしくは宗吾様350年祭記念行事実行委員会（商工観光課・☎20-1540）へ。